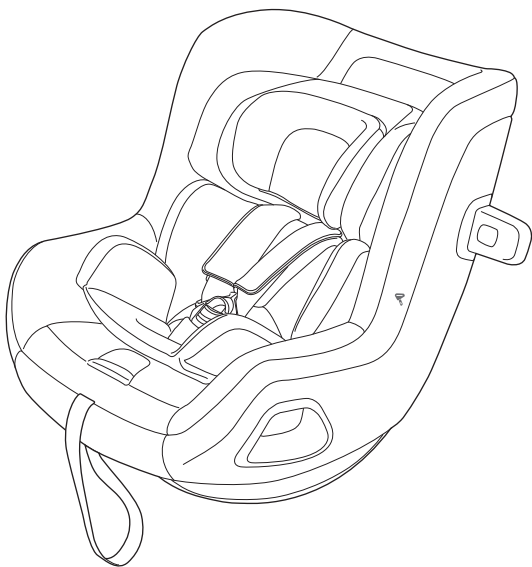


todl™ next

トドル ネクスト

Next system 対応

取扱説明書 / 保証書



nuna®

重要！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



必ずお読みください

本製品は、本製品に対応した ISOFIX ベースシートに取り付けた状態で自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとして使用することができるチャイルドシート用のシートです。本製品は単体では使用することができません。

本製品は、最新の安全基準に適合するチャイルドシート製品ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品を使用するため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品を使用してください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください	4	ヘッドサポートの取り外し、取り付け	41
ユーザー登録のお願い	4	ボディサポートの取り外し、取り付け	42
チャイルドシートについて	5	クッションの取り外し、取り付け	45
本製品の重要な情報	6	サイドインパクトプロテクションポッド (SIP)	47
ISOFIX ベースシート	7	リクライニング	49
適合車種一覧	7	お子さまの乗せかた	51
表記の説明	8	準備	51
本取扱説明書で使用するイラストについて	8	後ろ向きで使用する場合	52
その他の表記について	8	前向きで使用する場合	59
最初にご確認ください	9	ISOFIX ベースシート (別売) による	
内容物の確認	9	取り付け	68
各部の名称	10	nuna BASE next (例) の取り付け	68
自動車に関わる各部の名称	11	nuna BASE next (例) に取り付ける	76
シエルの向きと使用条件	12	nuna BASE next (別売) の使いかた	81
後ろ向き、前向きの使用条件	12	nuna BASE next (例) の取り外し	84
使用可能なお子さまの範囲	13	お手入れのしかた	87
インファントインサートの使用	14	カバー類の取り外し、取り付け	87
自動車の座席への取り付けに関して	15	股ベルトパッド	88
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	15	インファントインサート	88
i-Size	15	肩ベルトパッド	88
取扱説明書の携行	16	シートカバー・ヘッドレストカバー	90
本製品を取り付けできない座席	20	お手入れの方法	94
使用上の注意	21	カバー類	94
緊急時の操作	35	本体	95
基本的な使いかた	36	ハーネス・ベルト類・受けバックル・ 差込みタンク	96
バックルの使いかた	36	ISOFIX ベースシートのお手入れ	96
バックルの外しかた	36	保管のしかた	97
バックルの留めかた	37	廃棄のしかた	97
ハーネスの長さ調節	38	保証書	
ハーネスの高さ調節	39		
インファントインサートの使いかた	41		

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準の ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

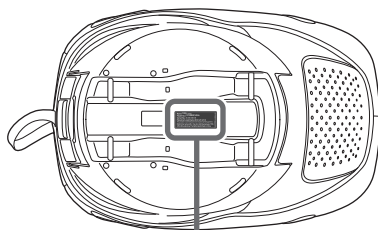
同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



Model No. (モデルナンバー)

Serial No. (シリアル番号)

Manufactured Date (製造年月日)

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

本製品の重要な情報

●指定の ISOFIX ベースシートに取り付けてチャイルドシートとして使用可能

- 1 本製品は、UN Regulation No.129 基準に適合したチャイルドシート用のシートです。本製品は単体では使用することはできません。本製品に対応する ISOFIX ベースシートを ISOFIX により自動車の座席に取り付けた上で、本製品を ISOFIX ベースシートに取り付けて使用します。
- 2 本製品は、本製品に対応した ISOFIX ベースシートに取り付けた状態で i-Size 規格に対応するチャイルドシートです。本製品が適合する UN Regulation No.129 基準によって、i-Size に対応した自動車の座席に取り付けて使用することが認められています。ただし、車種、座席によっては、本製品の装備する機能の使用に制限が生じる場合があり、また自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」との表記がない場合でも、取り付け、使用が可能な場合もあります。「適合車種一覧」(P7 参照)をご確認ください。
- 3 本製品は、適合する基準により使用可能なお子さまの範囲が定められています。本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きに固定して使用する場合は、身長 40cm-105cm かつ体重 19kg 以下のお子さまにご使用いただけます。本製品を自動車の進行方向に対して前向きに固定して使用する場合は、身長 76cm-105cm かつ体重 19kg 以下かつ生後 15 ヶ月を超えたお子さまにご使用いただけます。
- 4 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 5 本製品は、以下の製品 (ISOFIX ベースシート) *と組み合わせて使用することができます。
nuna BASE next
実際に取り付けてご使用になる場合は、ISOFIX ベースシートの取扱説明書を必ずご確認ください。
※最新の ISOFIX ベースシート情報については、当社ホームページでご確認ください。

ISOFIX ベースシート

ISOFIX ベースシート（別売）について

本製品を使用するためには、本製品に適合する「ISOFIX ベースシート」（P6-5 に記載の ISOFIX ベースシート）を別途お買い求めいただく必要があります。本書では、ISOFIX ベースシートの「nuna BASE next」（別売）への取り付けかたを記載しております。

ただし、記載内容は抜粋となりますので、本製品の取扱説明書と併せて、必ず ISOFIX ベースシートの取扱説明書を確認するようにしてください。

本書と併せて ISOFIX ベースシート（別売）の取扱説明書および取り付ける自動車の取扱説明書を必ず確認すること。誤った取り付けや、誤った使用方法は、重大な事故の原因となります。

⚠ 危険

当社が使用可能と明確に表示していないベースシートに絶対に取り付けしないでください。衝突や急制動の際に、本製品が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品を使用されるお子さまや保護者の方、また、周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上で使用してください。



危険 この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。



警告 この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。



注意 この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

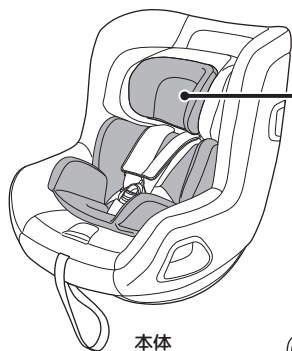


「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利にご使用いただくための大切な情報です。

最初にご確認ください

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



インファントインサート

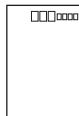
本体



サイドインパクトプロテクションポッド×1



本書（取扱説明書 / 保証書）



ユーザー登録はがき

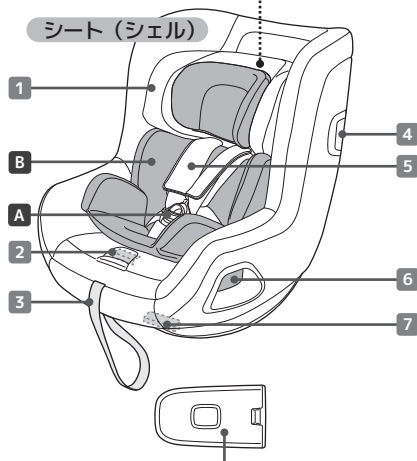
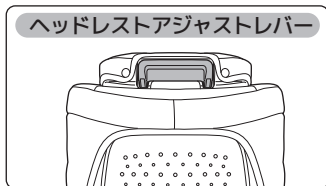


注意 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

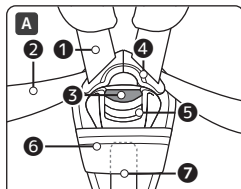


ポイント 本製品の組み立て、ISOFIX ベースへの取り付けには、工具類は必要ありません。

各部の名称



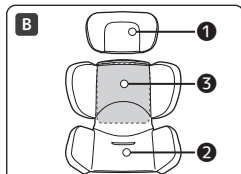
サイドインパクトプロテクションポッド (SIP)



バックル/ハーネス

※肩ベルトと腰ベルトをあわせて「ハーネス」と表記している場合があります。

- ① 肩ベルト (ハーネス)
- ② 腰ベルト (ハーネス)
- ③ バックルボタン
- ④ 差込みタング
- ⑤ 受けバックル
- ⑥ 股ベルトパッド
- ⑦ 股ベルト



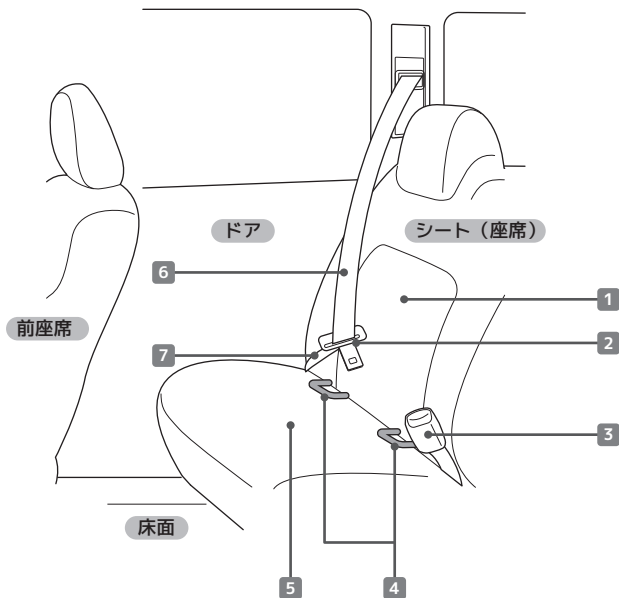
インファントインサート

- ① ヘッドサポート
- ② ボディサポート
- ③ クッション

- ① ヘッドレスト
- ② ベルトアジャスターボタン
- ③ アジャスターベルト
- ④ SIP 取付口
- ⑤ 肩ベルトパッド
- ⑥ シート回転レバー
- ⑦ リクライニングレバー

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



- 1 背もたれ
- 2 シートベルトタング
- 3 シートベルトバックル
- 4 ISOFIX 固定バー
- 5 座面
- 6 シートベルト (肩ベルト)
- 7 シートベルト (腰ベルト)

♀ポイント

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

シェルの向きと使用条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合したチャイルドシートであり、身長 40cm (体重 2.5kg 以上の新生児※) 以上から、身長 105cm かつ体重 19kg 以下のお子さまにご使用いただけます。

本製品は、本製品に対応した別売の ISOFIX ベースシートに取り付けてのみ使用することができます。

nuna BASE next (ISOFIX ベースシート) では、ISOFIX ベースシートの台座部分が回転することにより、本製品の取り付け、取り外しを行う必要なく、本製品を回転させて、後ろ向き、前向きを切り替えることができます。

また、回転しないタイプの ISOFIX ベースシート (当社が取付可能であると明確に指示した場合に限ります) の場合は、後ろ向き、前向きに、それぞれ取り付けを行ってください。

この後ろ向き、前向きでの使用により、使用できるお子さまの範囲は異なります。本製品の適合する基準により、それぞれの使用可能範囲が定められています。

後ろ向き、前向きの使用条件

お子さまが生後 15 か月かつ身長 76cm を超えるまでは、必ず本製品の座席(シェル)を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。

本製品は後ろ向き、前向きとも、身長 105cm かつ体重 19kg までは使用することができます。お子さまの身長が 76cm を超えても生後 15 か月を超えるまでは、後ろ向きで使用してください。



この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

本製品は、**体重 2.5kg 以上の新生児※**からご使用いただけます。

※:ここでいう新生児とは、体重2.5kg 以上かつ在胎週数37 週以上で出生したお子さまを指します。

⚠危険 使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守してください。

使用可能なお子さまの範囲

シートの向きと 使用可能なお子さまの範囲	参考年齢※ ¹	リクライニング	インファントインサート
【後ろ向きでの使用】 身長：40-105cm まで 体重：19kg 以下 	4 歳頃まで	①～⑤	身長 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまにはすべてのインファントインサートのご使用をお勧めします。お子さまの成長、体格により窮屈になった場合は、インファントインサートを調節または取り外して使用してください。
【前向きでの使用】 身長：76-105cm まで 体重：19kg 以下 月齢：生後 15 か月を超えてから 	15 か月※ ² から 4 歳頃まで	①～⑤	すべてのインファントインサートを取り外してください。

※1：年齢は参考です。身長と体重によってお子さまの使用可能な範囲が定められています。

※2：前向きにしての使用は生後15 か月を超えてからにしてください。

本製品の座席（シェル）は、後ろ向き使用時、前向き使用時ともに5段階でリクライニングを調節することができます。自動車の座面の角度や、お子さまの成長、状態に合わせて調節してください。

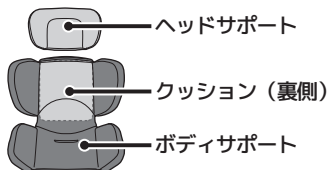
◎ポイント お子さまの月齢が低い期間、首がすわるまでの間は、後ろ向きで使用しますが、その際、リクライニングが立ちすぎないようにして使用してください。

インファントインサートの使用

より快適に、安全にご使用いただくため、本製品ではお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるインファントインサートが付属しています。下記を参照して、インファントインサートを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。

●身長60cm未満かつ体重13kg以下の場合

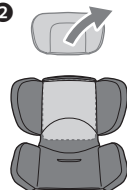
①



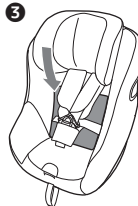
側面からの衝撃を緩和する効果が期待できますので、身長が60cm未満かつ体重が13kg以下のお子さまは、すべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。
お子さまの成長、着衣により窮屈になる場合には、以下を参照して、インファントインサートを調節してください。

●身長60cm以上かつ体重が13kgを超えた場合

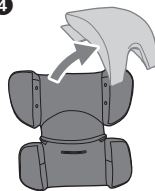
②



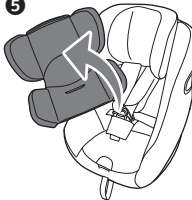
③



④



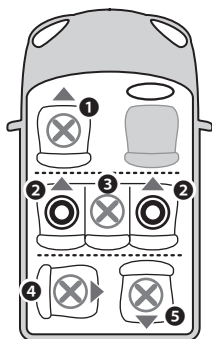
⑤



自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 取付使用可能
- ③ 後列中央席 取付使用不可
- ④ 進行方向横向きの座席 . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可



自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）のチャイルドシートの取り扱いに関する記載を併せてご確認ください。



上記の座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

i-Size

ISOFIX ベースシートを自動車の座席に取り付けた上で、本製品を ISOFIX ベースシートに固定して使用する場合、「i-Size」規格に対応いたします。

この場合、当社が特に指定しない限り、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。

本製品を取り付ける ISOFIX ベースシートの種類によって、本製品または ISOFIX ベースシートの機能の使用が制限される場合がありますので、ご注意ください。

自動車の1つの座席に取り付けが可能であっても、他の座席で取り付け可能とは限りません。

また、「i-Size 対応」と指定されていない自動車、座席でも、取付可能な場合がありますので、車種適合一覧にて、適合の可否をご確認ください。

本製品を取り付けできない座席

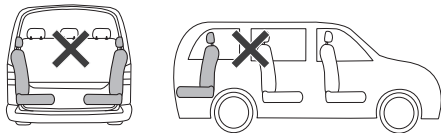
本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、船などの座席でも使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、チャイルドシートが押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。

また、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



助手席

本製品は、本製品に対応する別売の ISOFIX ベースシートに取り付けて使用します。この場合、「i-Size」規格に対応しており、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指定された座席には取り付けすることができます。車種によっては、助手席が「i-Size」に対応している場合もありますが、当社では助手席での使用は推奨しておりません。衝突や急制動の際にダッシュボードにぶつかったりする他、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けてご使用ください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

チャイルドシートを安定して設置できない座席

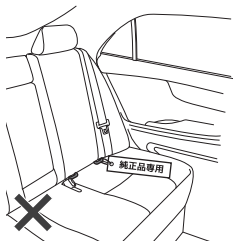
レーシング用のポケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、チャイルドシートを取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物にチャイルドシートが接触する座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどの場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



汎用 ISOFIX 固定装置が装備されていない座席

本製品は、本製品に対応した別売の ISOFIX ベースシートに取り付けて使用します。本製品に対応する ISOFIX ベースシートは汎用 ISOFIX 固定装置に対応しています。年式の古い車種に見られる、使用可能なチャイルドシートの機種が指定されている（自動車の取扱説明書において、チャイルドシートのメーカーおよび機種名までが指定されている）、ISOFIX 固定装置（スペシフィックヴェークル）が装備されている座席では取り付けおよび使用はできません。



チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

チャイルドシートを使用すると、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウイパーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

座席やドアに干渉する座席

座席の可動部分や、座席の移動、ドアの開閉に干渉する座席には取り付けしないでください。



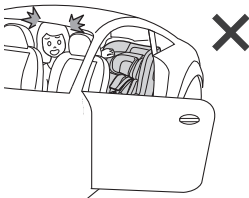
以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、チャイルドシートを使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

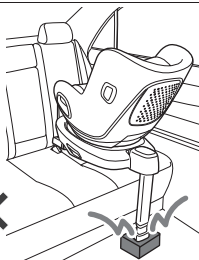
たとえ「i-Size」対応の座席の場合でも、自動車の使用方法によっては、チャイルドシートを取り付けることにより、乗員の脱出などに影響が生じる場合がありますので、同様に確認をするようにしてください。



床面に構造物のある座席

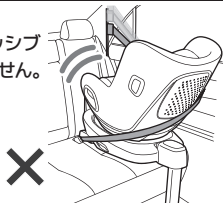
本製品は、ISOFIX ベースシートのサポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。

※本製品が対応する ISOFIX ベースシートについては P6-5 に記載しています。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。

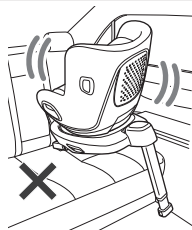




以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

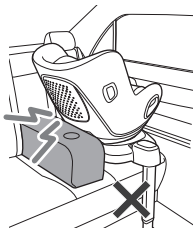
取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度などに異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付けおよび使用ができない座席では、使用しないでください。



以下に示す座席では使用しないでください。この指示を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりするおそれがあります。

固定式の側壁（コンソールなど）が装備されている座席

本製品を「nuna BASE next」（別売）に取り付けて使用した場合、回転機構を使用すると、側壁（コンソールなど）が干渉して、自動車や本製品にキズが生じたり、破損したりするおそれがあります。



取扱説明書の携行

本取扱説明書は、ISOFIX ベースシート（別売）の取扱説明書ホルダーに保管するか、または本製品のシートカバー生地の内側に入れておき、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

取扱説明書は、本製品を使用しなくなり廃棄するまで常に携行してください。

（例）nuna BASE next（別売）



💡ポイント

上図の ISOFIX ベースシートは、BASE next の例です。ISOFIX ベースシートにより、取扱説明書ホルダーの位置は異なりますので、ISOFIX ベースシートの取扱説明書をご参照ください。

使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

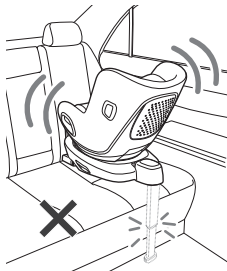


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

本取扱説明書や ISOFIX ベースシートの取扱説明書、および本製品、ISOFIX ベースシートの本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

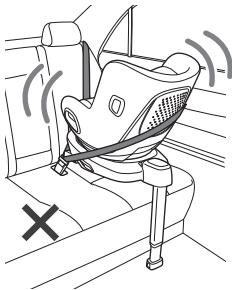


指定以外の耐荷重保持接点を使用しないこと

本製品の取り付けおよび使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点（ベルトガイド、シートベルトの通し位置や経由点、ISOFIX 使用時の接合部など）以外を使用しないでください。本製品の取り付けおよび使用にあたっては、必ず本書や本製品に表記されている指示に従ってください。

ISOFIX 固定装置以外の方法で固定しないこと

ISOFIX ベースシートで取り付ける場合は、自動車の ISOFIX 固定バーに、ISOFIX ベースシートの ISOFIX コネクタを接続して固定してのみ使用可能です。3 点式シートベルトを含み、それ以外のいかなる方法でも固定することはできません。

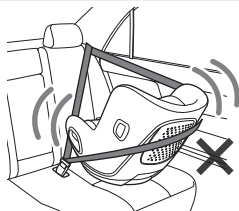




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

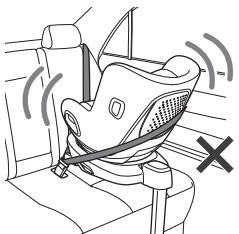
本製品単体で使わないこと

本製品は、本製品単体でチャイルドシートとして使用することはできません。いかなる固定方法を用いたとしても、安全に使用することはできません。正しく固定されていない本製品ではお子さまの安全は守られません。本製品にお子さまを乗せる場合は、必ず正しく取り付けられた本製品に対応する別売の ISOFIX ベースシートに取り付けて、チャイルドシートとして使用してください。



シートベルトによる追加の固定を行わないこと

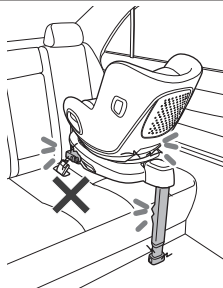
ISOFIX での正しい固定に加えて、シートベルトで固定しないでください。2重の固定により、安全性が増すことはなく、本製品の安全性能に影響を与え、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使わないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。ISOFIX ベースシートの ISOFIX コネクターやサポートレッグ、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。

また本製品と ISOFIX ベースシートを固定する機構に異常が認められる場合も、同様に取り付けおよび使用をしないでください。



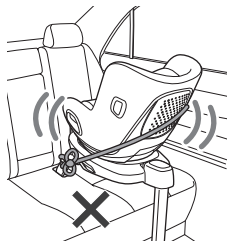


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

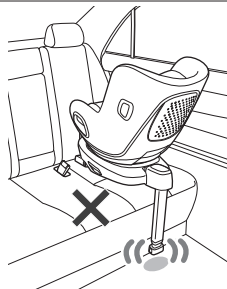
本製品（および ISOFIX ベースシート）は、取扱説明書および本体で指示する方法でのみ自動車の座席に固定して使用することができます。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを固定に使用してはいけません。

また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



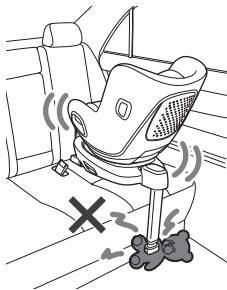
サポートレッグの長さを適切に調節して、サポートレッグの先端が確実に床面に接するようにすること

ISOFIX ベースシートのサポートレッグを正しく使用してください。ISOFIX ベースシートの取扱説明書を参照してサポートレッグの長さを調節して、自動車の床面に確実に先端が接するようにして使用します。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

ISOFIX ベースシートのサポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

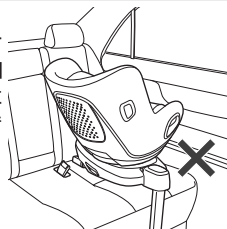




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定以外の向きで使用しないこと

本製品は、ISOFIX ベースシートのサポートレッグを前にして自動車の座席に固定し、本製品を ISOFIX ベースシートに固定して使用します。本製品は、お子さまの身長および体重に応じて、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きのいずれかにして使用します。



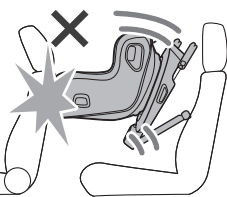
いかなる場合でも注油しないこと

本製品にが安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的、方法でも、絶対に本製品に注油や潤滑剤を使用してはいけません。



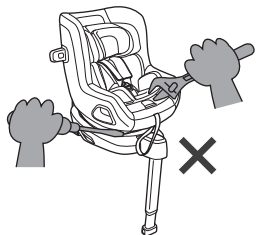
使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり、部品などを追加することは禁止されています。また、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。

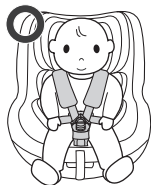




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

常にハーネスとバックルを正しい状態で使用すること

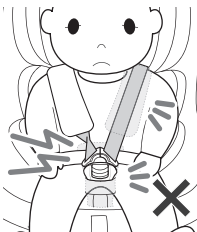
お子さまを本製品に乗せる場合は、必ずハーネス、股ベルトを正しい状態で使用し、常にバックルを留めておいてください。



ハーネスを正しく調節し、ハーネスや股ベルトにねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

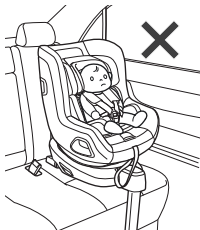
ハーネスは、高さや長さを正しく調節してねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。

腰ベルト、股ベルトにねじれがないようにしてください。



使用可能な範囲を守ること

本製品が認証を受けた基準により、使用できる条件と本製品の使用する向きおよび使用方法とそれに応じた使用可能なお子さまの範囲が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ハーネスを常に正しく装着すること

ハーネスは常に適切に調節して使用してください。適宜ハーネスの状態を確認し、お子さまの成長や着衣の状況に応じて、適切な状態になっていることを確認してください。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

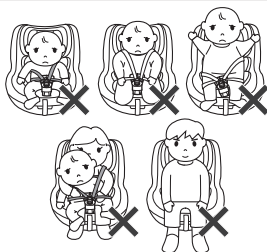
お子さまが使用可能な範囲の条件に適していたとしても、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、ハーネスを調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

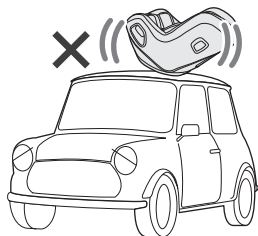
お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違っ使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



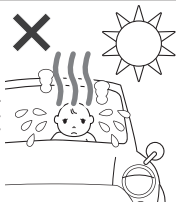
お子さまを乗せたまま高所に置かないこと

本製品が落下して、重大な事故につながるおそれがあります。テーブルの上や椅子の上、階段近く、自動車の屋根の上、買い物カートなど、転落すると危険な場所に、お子さまを乗せたまま本製品を置かないでください。たとえ、ハーネスで正しく固定していたとしても、重大な事故につながります。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症、脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを使用すること

多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

お子さまから目を離さないこと

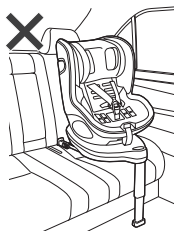
本製品は、常に保護者の目が届く状態で使用してください。絶対に、お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には、常に注意を払ってください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない部品を取り外して使用しないでください。カバー類やウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

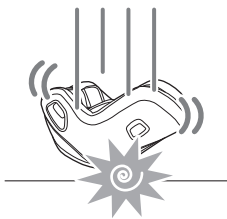
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。

特に、交通事故の場合は軽度なものであってもチャイルドシートには強い力がかかっているおそれがありますので、使用しないでください。

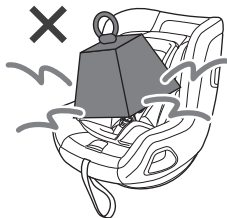
また、本製品の部品が欠落したり紛失したりした場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能なくなっている可能性があります。

このような場合は、修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



本製品に過度の負担を掛けないこと

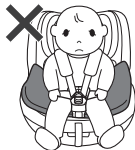
本製品（および ISOFIX ベースシート）が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

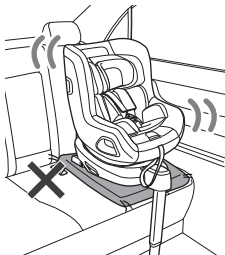
不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、**おくるみなど、両足が出ない(股ベルトを両足で挟めない)構造の着衣**でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまの身体が確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネスなどを正しく調節してください。正しく調節できない場合は、お子さまの身体が正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。また、衝突や急制動の際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



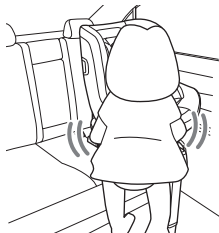
チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと

チャイルドシートと座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシートを正しく取り付けられた際に、自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

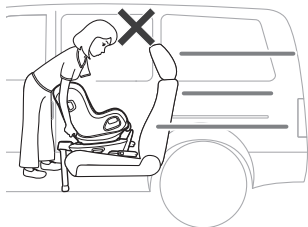
他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

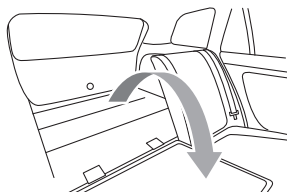
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、ハーネスの装着状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認や操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使うよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に、取り付けした自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、取り付け状態を確認してください。

特に、3点式シートベルトで固定している場合は、取り付けがゆるむおそれがありますので、必ずご確認ください。

指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類や、ソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

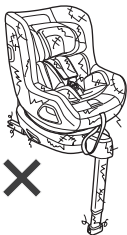
指定外のインファントインサートを使用しないこと

本製品には、インファントインサートが付属しています。このインファントインサートは、安全基準を満たした部品ですので、指定外のソフトパッドやインサート類をこれに替えて使用したり、追加して使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

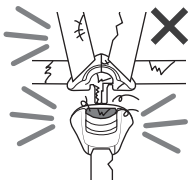
中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため使用しなくなった本製品は、「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



バックル、ハーネスに異常がある場合は使用しないこと

本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル、ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。



ハーネス以外の方法でお子さまの身体を固定しないこと

お子さまの身体の固定は、ハーネスによってのみ行うことができます。お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがありますので、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。

また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、本書で示す目的でのみ使用することができます。本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを乗せたまま持ち上げないこと

お子さまが落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。たとえハーネスでお子さまの身体を正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないでください。

お子さまの乗せ降ろしは、本製品が自動車の座席に正しく固定された ISOFIX ベースシートに取り付けられた状態で行ってください。



注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

固定されていない本製品にお子さまを乗せないこと

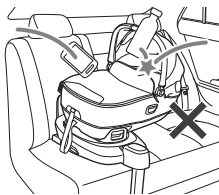
本製品は、単体では安定した状態になりません。自動車の座席に正しく固定された ISOFIX ベースシートに、本製品が取り付けられた状態でのみお子さまを乗せることができます。

例え、ハーネスで正しくお子さまが固定されていたとしても本製品が転倒しますので、本製品単体の状態でお子さまを乗せないでください。



車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。



バックルは常に留めておくこと

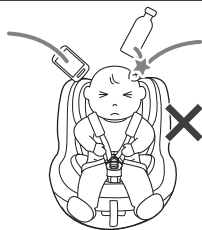
バックル内にゴミなどの異物が入ると、正常に機能しなくなるおそれがあります。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。



バックルは常に留めておくこと

バックル内にゴミなどの異物が入ると、正常に機能しなくなるおそれがあります。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

自動車のドアや可動式シートの操作に干渉しないように取り付けること

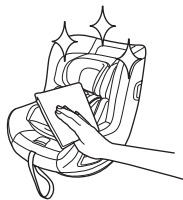
本製品は、自動車のドアや、可動式シートの操作に干渉しない座席に取り付けてください。本製品や自動車が破損したり、キズが付くおそれがあります。

お子さまの手足を挟まないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際に、お子さまの手足に注意し、本製品と自動車の座席や ISOFIX ベースシートとの間に手や足、指を挟まないよう注意してください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バーを清潔に保つこと

ISOFIX ベースシートの ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定バーに食べかすや、汚れ、ほこりなどが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

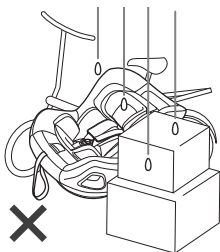
ハーネス、インファントインサートなどの部分をつかんで本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際は、本体を両手でしっかりと持って持ち上げてください。ハーネス、インファントインサート、生地部分などをつかんで持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。また、ISOFIX ベースシートに取り付けた状態では持ち上げないでください。



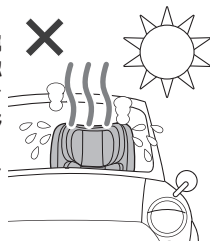
不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質したりするなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天や直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気が多い場所、ホコリが多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ISOFIX ガイドに汚れがないか頻繁に確認すること

汚れ、埃、食べかすなどが ISOFIX ガイド内に侵入すると本製品の信頼性が低下するおそれがあります。ISOFIX ガイドは必要に応じて、取り外してお手入れしてください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外して車外の安全な場所で適切に保管してください。

同様に ISOFIX ベースシートを使用している場合は、ISOFIX ベースシートも取り外してください。

ご購入前、ご使用前にお使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるか、ご確認ください

正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適に使用していただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

ベビーベッドとして使用しないこと

本製品は、ベビーベッドではありません。保護者の方の監視のもとで使用するチャイルドシート用のシートです。長時間の睡眠に使用すると、赤ちゃんの健康を害するおそれがあります。本製品は、長時間の睡眠には適しませんので、ベビーベッドの代用としては使用しないでください。

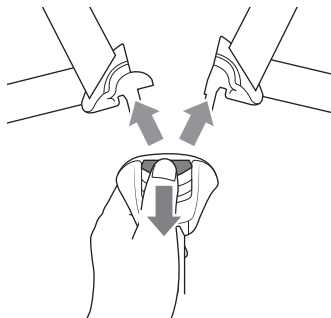
疑問点、ご不明な点は、販売店またはお客様サービスにお問い合わせください

お手入れ、メンテナンスついて疑問がある場合や、部品の交換、補修については、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

- 本製品を ISOFIX ベースシートから取り外す
- ISOFIX ベースシートごと自動車の座席 (ISOFIX 固定バー) から取り外す
- シートベルトカッターでハーネスを切断する

基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

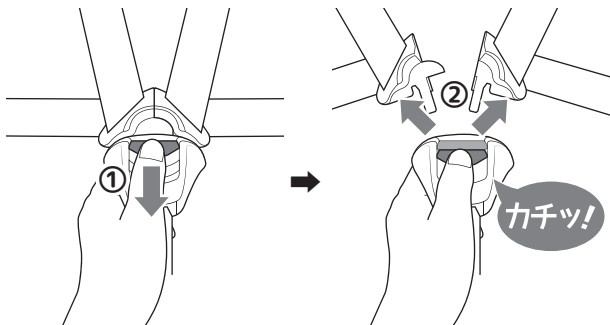
適切に使用すること。不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、受けバックルを握ってバックルボタンを押し下げます。「カチッ」と音がして、差込みタンクが外れます。

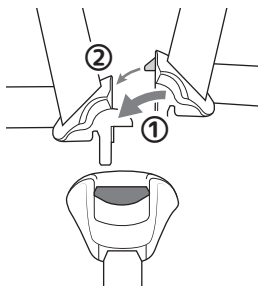


バックルの操作は固めです。バックルは、安全のため操作が固めになっています。
⚠️ **注意** お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

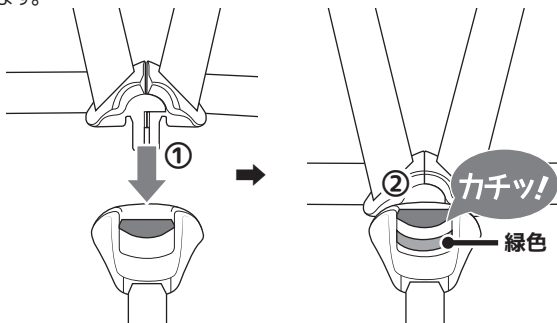
01

①向かって右側の差込タンクを、左側の差込タンクに乗せるようにして、②右側の差込タンクの先端部の突起を左側の差込タンクに差し入れて重ねます。



02

①そのまま受けバックルに差し込んで、②「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



03

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

危険

バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう**注意**してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

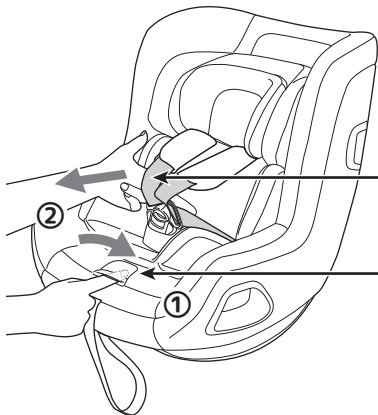
ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

危険 肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



♀ポイント

肩ベルトを持って引き出します。
肩ベルトパッドを持つと、
肩ベルトの引き出しができません。

♀ポイント

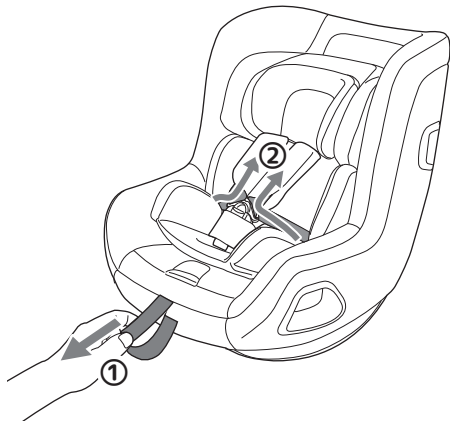
ベルトアジャスターは穴（切れ込み）
の中にあります。
外側からは見えません。

02

①アジャストベルトを手前に引くと、②肩ベルトが締まります。

⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。ハーネスが締めすぎると、お子さまに負担が掛かります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。



ハーネスの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルト（ハーネス）の高さは連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること。肩ベルトの高さは、必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

参照 P55 >後ろ向きで使用する場合 > 06

参照 P63 >前向きで使用する場合 > 07

01

あらかじめ、ハーネスをゆるめておきます。

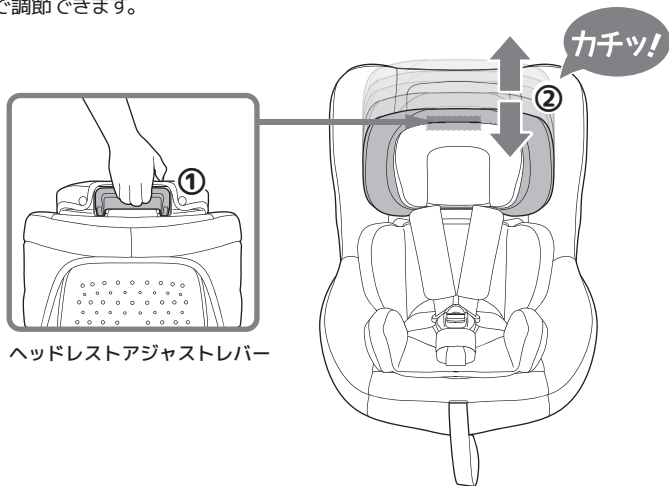
参照 P38 >ハーネスの長さ調節> 01

💡ポイント

ハーネスとヘッドレストは連動しています。ハーネスをゆるめておかないと、ハーネスが伸びきって、ヘッドレストが高くなる方向に動きません。

02

①ヘッドレストアジャストレバーを握りながら、②ヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。目的の高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは6段階で調節できます。



インファントインサートの使いかた

インファントインサートは、ヘッドサポートとボディサポート、クッションで構成されています。

身長が 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまには、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。お子さまが成長して窮屈になってしまう場合、ソフトパッドは調節して使用することができます。「インファントインサートの使用」を参照して、適切に調節してください。

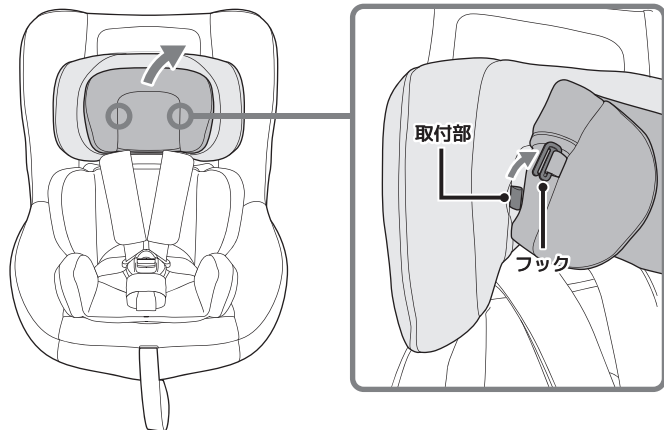
参照 P14 > インファントインサートの使用

ご購入時には、すべてのインファントインサート（ヘッドサポート・ボディサポート・クッション）が取り付けられています。お子さまの体格、成長に合わせて調節して使用してください。

ヘッドサポートの取り外し、取り付け

01

ヘッドサポートは、ヘッドレストに取り付けられています。ヘッドサポート裏側左右のフックをヘッドレストの取付部（ループ）から抜きます。左右とも同じようにして、ヘッドサポートを取り外してください。

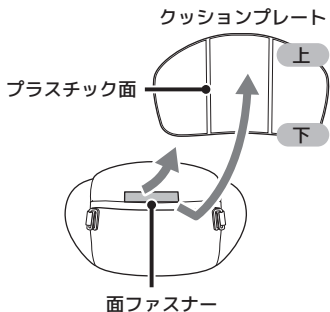


02

取り付けは逆の手順で行います。フックをしっかりと取付部に差し込んでください。

ポイント

ヘッドサポート内部には、クッションプレートが内蔵されています。お手入れの際には、クッションプレートを取り外してください。ヘッドサポート裏側の面ファスナーを外して、クッションプレートを取り出します。取り付ける際は右図を参照して向きを確認してください。プラスチック面を裏側にして、取り付けます。取り付け（差し込む）操作はかためですので、ご注意ください。



ボディサポートの取り外し、取り付け

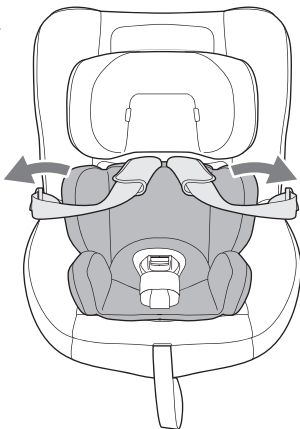
01

あらかじめ、ハーネスをゆるめておきます。

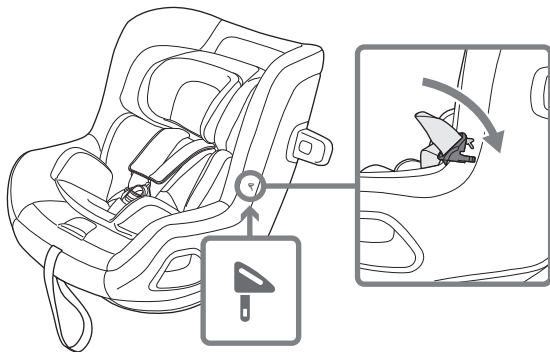
参照 P38 >ハーネスの長さ調節> 01

02

バックルを外し、差し込みタンクを外側に出しておきます。



📍ポイント 本製品、左右側面にある、差込みタンク図の刺繍部分にはマグネットが内蔵されています。刺繍部分に差込みタンクを乗せると、差込みタンクを留めておくことができます。お子さまの乗り降りの際などに利用してください。

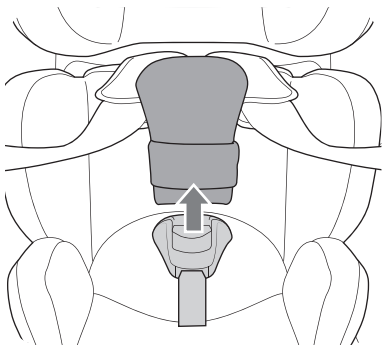


⚠️注意 マグネット（磁石）が使用されています。一部の医療機器では影響を与えるおそれがありますので、ご注意ください。また、時計、磁気テープ、磁気カードなど磁気の影響を受けるおそれがあるものは近づけないでください。

03

股ベルトパッドを受けバックルから抜き取ります。

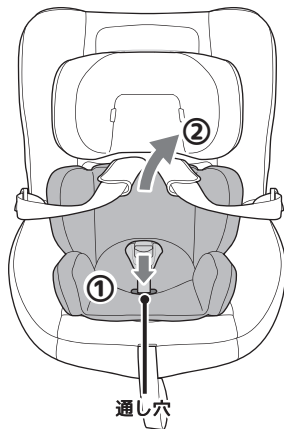
📍ポイント 股ベルトパッドの抜き取り、取り付けは操作が固めです。インファントインサートを取り付ける場合は、先にインファントインサートを受けバックルに通してから股ベルトパッドを取り付けてください。



⚠️警告 股ベルトパッドは、必ず取り付けなおしてください。股ベルトパッドが取り付けられていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できません。

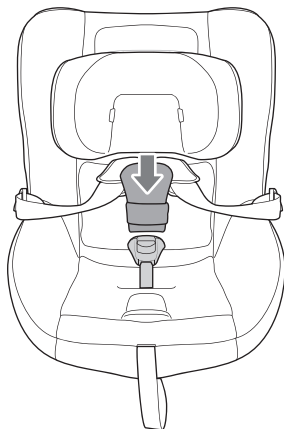
04

①インファントインサートの通し穴から受けパッ
クルを抜いて、②インファントインサートを取り
外してください。



05

股ベルトパッドを取り付けます。



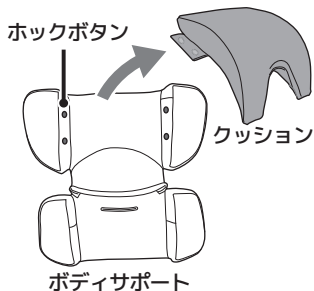
クッションの取り外し、取り付け

お子さまの身体が窮屈な状態になったら、ボディサポートからクッションを取り外して使用することができます。

01

クッションは、ボディサポートの裏側にホックボタン（4カ所）で取り付けられています。

ホックボタンを外して、クッションを取り外してください。



♀ポイント

クッションを取り外した場合は、クッションをお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

02

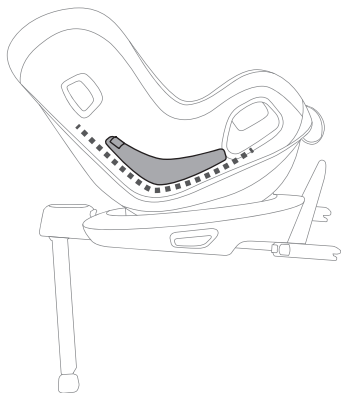
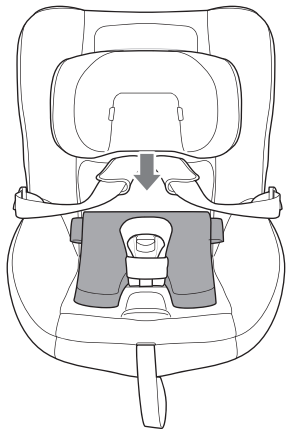
ボディサポートのみ、座席（シェル）に取り付けます。

参照 P42 > ボディサポートの取り外し、取り付け

03

クッションは、単体でも使用可能です。リクライニングの状態や、お子さまの体格などに合わせご使用ください。

下図を参照して、シート（シェル）の腰の位置にクッションの角をあわせて乗せてください。



上図のように、シートの背もたれと座面の境目の位置にクッションの背面の角を合わせて乗せます。

💡ポイント

取り外したボディサポートは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

04

ボディサポートへのクッションの取り付けは、逆の手順で行います。

サイドインパクトプロテクションポッド (SIP)

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクションポッド (SIP) が同梱 (1 個) されています。

SIP は、お子さまを乗せて使用する状態で本製品シートの自動車のドア側に取り付けてください。

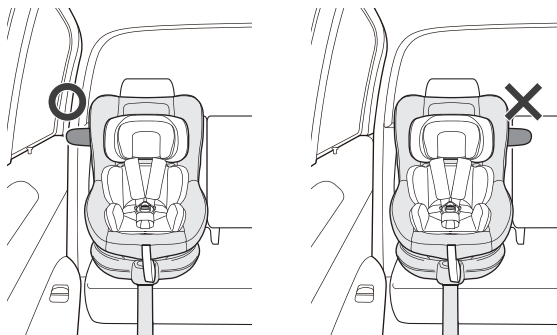
実際にご使用になる前に、SIP を取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかご確認ください。

「BASE next」に取り付けて使用する場合は、SIP がシートを回転した際にドアや座席に干渉しないことを確認してください。SIP がドアにあたったり、干渉する場合は取り外して本製品を使用してください。

シートの向きに注意してください。SIP は、**お子さまを乗せて使用する状態で、自動車のドア側になるように取り付けます。**本製品は後ろ向き、または前向きで使用しますので、本製品を使用する向きに応じて左右を確認

⚠注意 してSIP を取り付けてください。

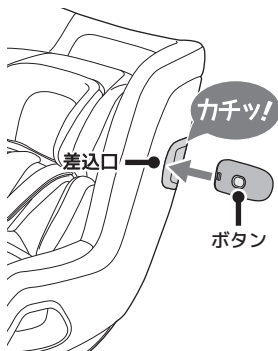
中央席側 (他の乗員側) には取り付けしないでください。事故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員にSIP があたりケガをするおそれがあります。



01

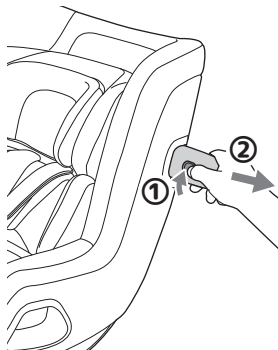
取り付けるには、SIP を取り付ける側の差込口に、SIP のボタンを手前側にして差し込みます（シートを前側から見た状態の手前側です）。

「カチッ」と音がして、SIP が固定されたことを確認してください。



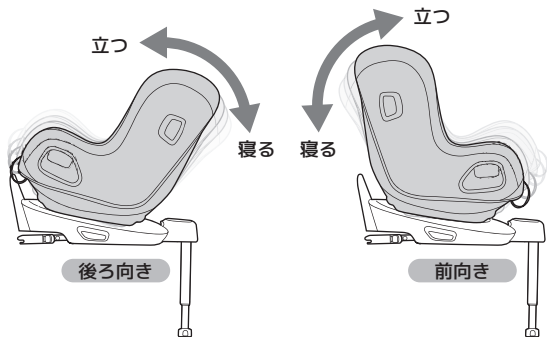
02

取り外すには、① SIP のボタンを押しながら、② 引き抜きます。



リクライニング

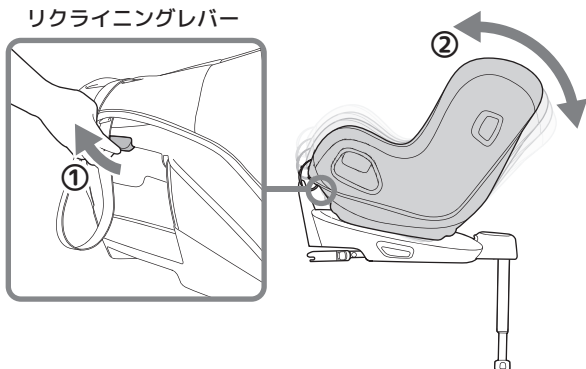
本製品にはシートを角度を変えるリクライニング機構が装備されています。リクライニングは、5段階で調節可能です。後ろ向き使用時、前向き使用時とも5段階で調節して使用することができます。



リクライニングは、お子さまの成長に応じて適切に調節してください。特に、
💡ポイント 月齢の低い間は、お子さまの様子を常に確認しながらリクライニングの調節をするようにしてください。

01

シェルの座面部先端下の①リクライニングレバーを押し上げて、②シェルの角度を調節します。



⚠注意 リクライニングレバーは、シェルの座面部先端の下にあります。後ろ向きにして使用している場合は、手を自動車の座席の背もたれの間を手を差し入れて操作することになりますので、本製品との間に挟まれないように注意してください。

♀ポイント ISOFIX ベースシートに「BASE next」を使用している場合で、後ろ向きにして使用している場合、「BASE next」の台座を横向きに回転させておくと簡単にリクライニングの操作ができます。

お子さまの乗せかた

本製品は、自動車の進行方向に対して後ろ向きまたは前向きにして使用します。使用可能な向きは、お子さまの身長および月齢により異なり、本製品の適合する基準によって定められています。



お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

参照 P13 > 使用可能なお子さまの範囲



本製品を正しく自動車の座席に取り付けてからお子さまを乗せること。本製品にお子さまに乗せた状態で本製品を持ち上げたり、ISOFIX ベースシートに取り付けたりしないでください。お子さまが落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

準備

お子さまの月齢が低い間は後ろ向きで使用します。本製品は、本製品の使用可能期間の最後まで（お子さまの身長が 105cm（かつ体重 19kg まで））後ろ向きで使用することができますが、後ろ向きで使用した場合に、お子さまの足が自動車の座席の背もたれにあたるようになったら、前向きにして使用してください。

01

お子さまの月齢、体格に合わせてインファントインサートを調節します。

参照 P14 > インファントインサートの使用



身長が 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまには、すべてのインファントインサートを取り付けて使用することをお勧めします。

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P68 > ISOFIX ベースシート（別売）による取り付け

03

お子さまの成長、座面の角度に応じて、リクライニングの角度を調節してください。

参照 P49 >リクライニング

04

SIP が自動車のドア側に取り付けられていることを確認します。

参照 P47 >サイドインパクトプロテクションポッド (SIP)

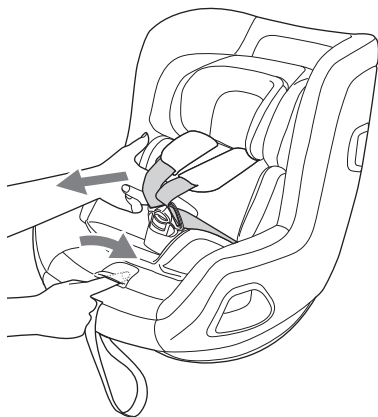
後ろ向きで使用する場合

💡ポイント

ISOFIX ベースシートに「BASE next」を使用している場合は、台座を横向きに回転させておくと、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

01

あらかじめ肩ベルトを十分にゆるめ、バックルを外しておきます。

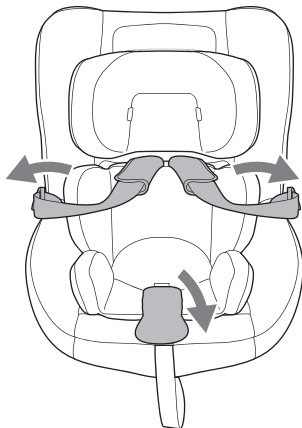


参照 P38 >ハーネスの長さ調節 > 01

02

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出示しておきます。

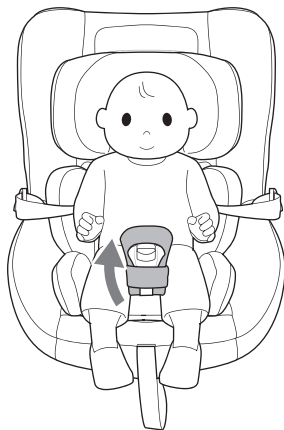
差込タングをマグネットで留めておくと、差込タングの取り扱いがしやすくなります。



参照 P43 > ボディサポートの取り外し、取り付け > 02 > ポイント

03

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を起こして両足の間に入れます。



ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

危険

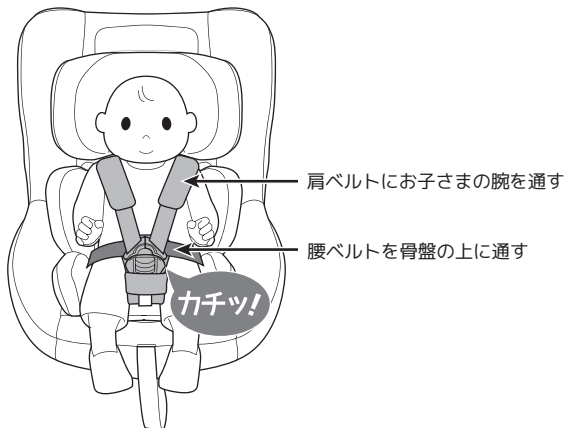
お子さまを正しい姿勢で乗せること。誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

04

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



⚠ 警告 ハーネスをねじらないようにすること。ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

💡ポイント ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

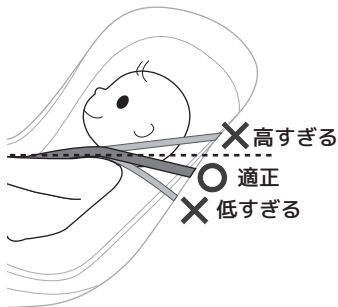
05

肩ベルトの高さを確認、調節します。最初にハーネスの締め付け状態を確認します。ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P38 >ハーネスの長さ調節> 01

06

肩ベルトの高さは6段階で調節可能です。後ろ向きで使用する場合は、お子さまの肩の高さと水平か、またはお子さまの肩の位置に最も近く、かつお子さまの肩の位置より低い段階に調節します。後ろ向きの場合、お子さまの肩の高さより高く調節するとお子さまが飛び出すおそれがあり、大変に危険です。



参照 P39 >ハーネスの高さ調節

⚠ 危険 肩ベルトの高さは適切に調節してください。後ろ向き使用時と前向き使用時では適切な高さが異なります。それぞれの適切な高さで調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意 肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

💡ポイント

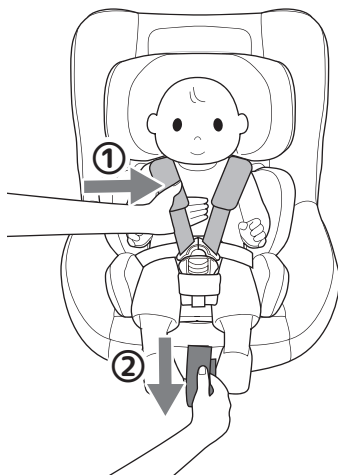
肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。また、お子さまの成長、着衣の状態に応じて適宜調節してください。

07

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて、締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間挟まれるまで締め付けるようにします。



⚠️危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること。肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

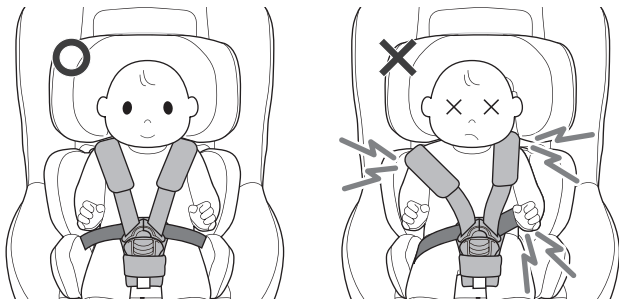
💡ポイント

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

08

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよう、必ず確認して、正しくなるように調節してください。

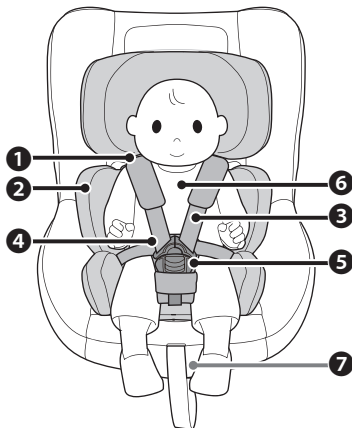


⚠危険

ハーネスを正しい状態にして使用すること。肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通過していたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通過していると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

09

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適正に調節されていること
- ② インファントインサートが正しく取り付けられていること（身長60cm未満かつ体重13kg以下のお子さまにはすべてのインファントインサートを取り付けた状態での使用をお勧めいたします）
- ③ ハーネスが適正に締め付けられていること
- ④ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること

10

お子さまを降ろす場合は、バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。



警告

お子さまを勢いよく降ろさないでください。お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。



ポイント

ISOFIX ベースシートに「BASE next」を使用している場合は、台座を横向きに回転させておくと、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

前向きで使用する場合



ポイント

ISOFIX ベースシートに「BASE next」を使用している場合は、台座を横向きに回転させておくと、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。



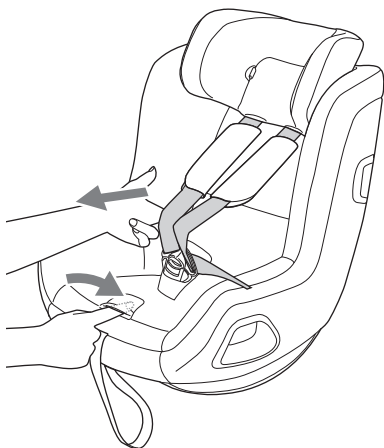
危険

お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 カ月を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

01

あらかじめ肩ベルトを十分にゆるめ、バックルを外しておきます。

参照 P38 >ハーネスの長さ調節> 01



02

前向きで使用する場合は、インファントインサートは使用できません。すべて取り外してください。



参照 P41 >インファントインサートの使いかた

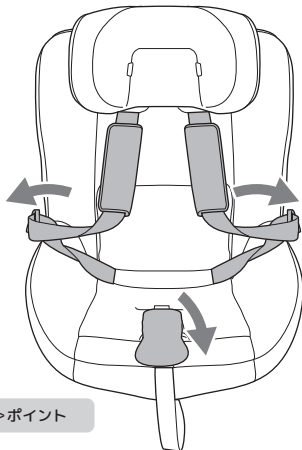
📍ポイント

取り外したインファントインサートは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

03

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出しておきます。

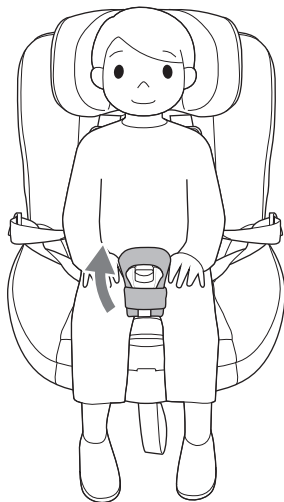
差込タングをマグネットで留めておくと、差込タングの取り扱いがしやすくなります。



参照 P43 >ボディサポートの取り外し、取り付け> 02 >ポイント

04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせませ
す。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）
を起こして両足の間に入れます。



💡ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたり
しないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

⚠️危険

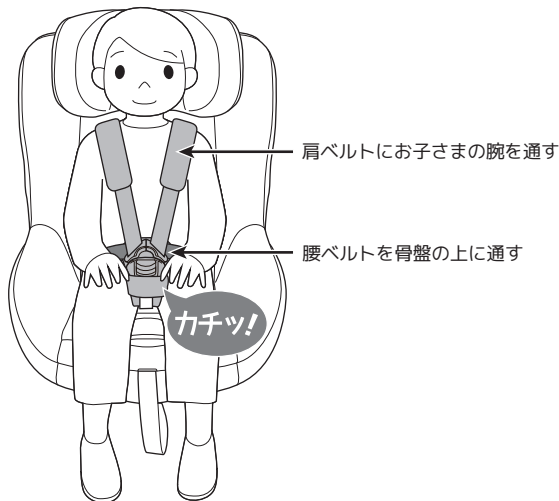
お子さまを正しい姿勢で乗せること。誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正
しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして
思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品
に乗せてください。

05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



警告 ハーネスをねじらないようにすること。ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。



ポイント ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

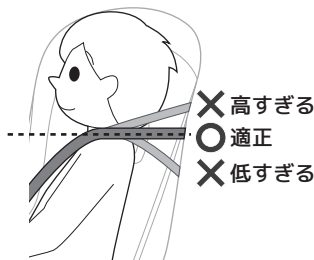
06

肩ベルトの高さを確認、調節します。最初にハーネスの締め付け状態を確認します。ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P38 >ハーネスの長さ調節> 01

07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。前向き使用時には、必ずお子さまの肩の位置と水平になるようにします。



参照 P39 >ハーネスの高さ調節

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節してください。後ろ向き使用時と前向き使用時では適切な高さが異なります。それぞれの適切な高さで調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

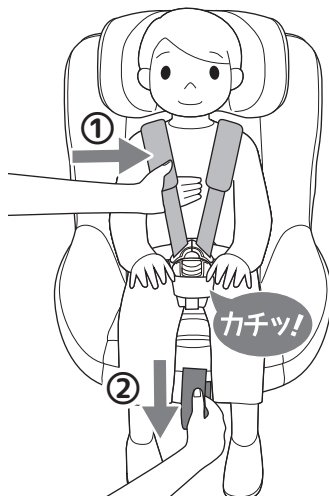
💡ポイント

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているか使用毎に確認するようにしてください。
ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。また、お子さまの成長、着衣の状態に応じて適宜調節してください。

08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて、締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。

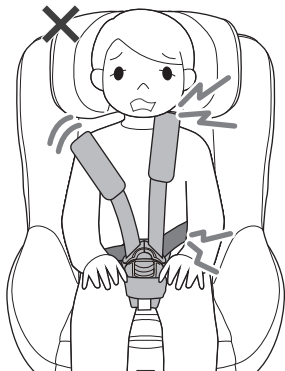
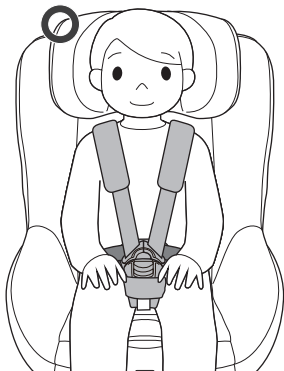


アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること。肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよう、必ず確認して、正しくなるように調節してください。

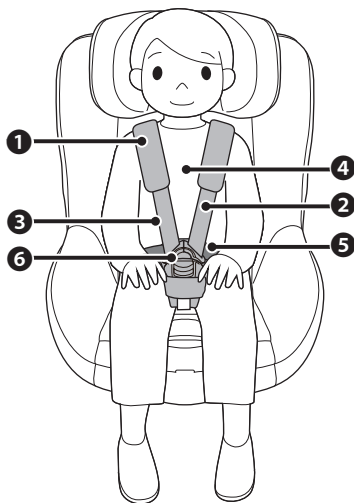


⚠ 危険

ハーネスを正しい状態にして使用すること。肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

10

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

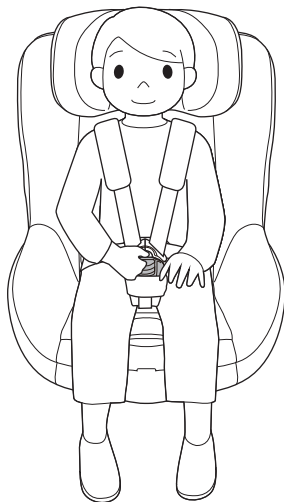
- ① 肩ベルトの高さが適正に調節されていること
- ② ハーネスが適正に締め付けられていること
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
- ④ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑤ 肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑥ バックルがしっかりと留まっていること

11

お子さまには、バックルを触らないようお願いさせていただきます。

⚠危険

バックルが外れると大変に危険です。バックルはお子さまには外しにくいよう、操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると、自ら外してしまうおそれがあります。本製品の使用中は、乗降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう、普段から言い聞かせるようにしてください。



12

お子さまを降ろす場合は、バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

⚠警告

お子さまを勢いよく降ろさないでください。お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

💡ポイント

ISOFIX ベースシートに「BASE next」を使用している場合は、台座を横向きに回転させておくと、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

ISOFIXベースシート（別売）による取り付け

本製品を使用するには「nuna BASE next」などの ISOFIX ベースシートに固定する必要があります。先に ISOFIX ベースシートを自動車の座席に固定した上で、本製品を取り付けて使用します。



本製品が安全に機能しないので、対応外の ISOFIX ベースシートに取り付けて使用してはいけません。当社が「取り付け使用可能」と明示しない限り、他の ISOFIX ベースシートや3点式シートベルトで取り付けるベースシートを使用してはいけません。

※ P6-5 に本製品に対応する ISOFIX ベースシートが記載されています。

本取扱説明書とあわせて ISOFIX ベースシートの取扱説明書を確認すること。

ここでは、ISOFIX ベースシートの例として「nuna BASE next」を使用する場合の操作方法を記載しております。「nuna BASE next」の使用方法にも触れていますが、ここでは、基本的な操作部分のみの記載となります。

また、ISOFIX ベースシートの種類によって、操作の内容および手順、部位名称が異なる部分がありますので、**必ず ISOFIX ベースシートの取扱説明書を確認してください。**

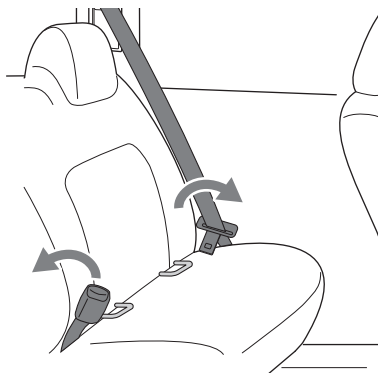


安全のため、ISOFIX ベースシートの取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

nuna BASE next（例）の取り付け

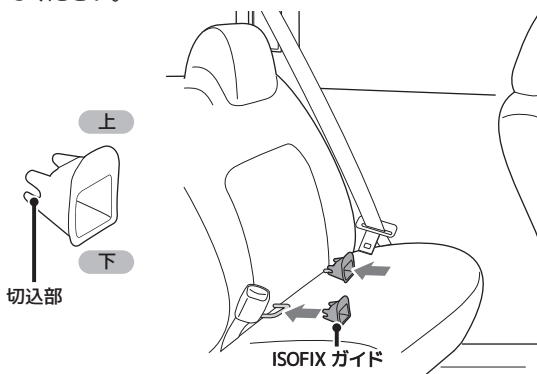
01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に「nuna BASE next」を乗せないようにしてください。



02

「nuna BASE next」に付属の ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。ISOFIX ガイドの切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。



車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地にキズがつく場合があります。あらかじめご了承ください。

ポイント

ISOFIX 固定バーは、座面と背もたれの間奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、自動車の取扱説明書をご確認ください。

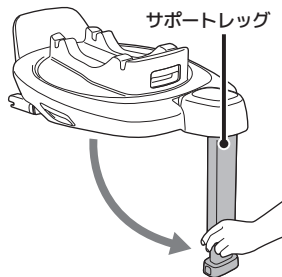
03

「nuna BASE next」のサポートレッグを最後まで開きます。

サポートレッグは開いた状態で完全には固定されていません。本体を持ち上げるとサポートレッグが閉じることがあります。

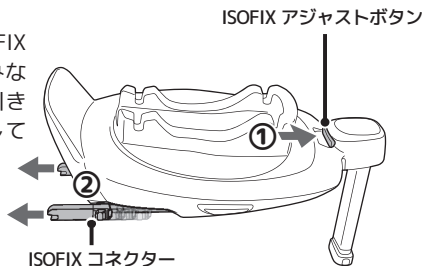
⚠️ 注意 ですのでご注意ください。

なお、サポートレッグは閉じた状態では固定されませんので、持ち上げる際はご注意ください。



04

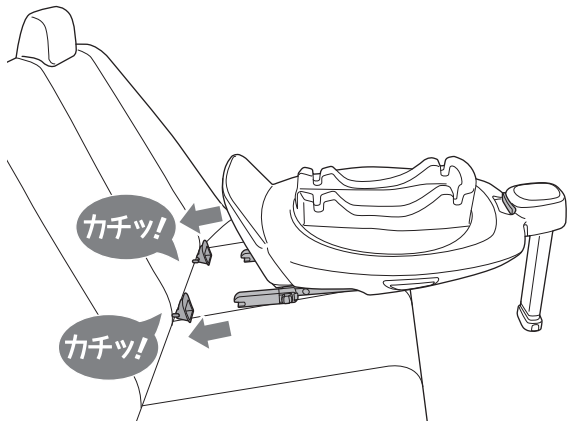
「nuna BASE next」の① ISOFIX アジャストボタンを押し込みながら② ISOFIX コネクターを引き出します。最後まで引き出してください。



05

前後を確認して「nuna BASE next」を座面に置き、左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。

左右それぞれカチッと音がして座席の ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。

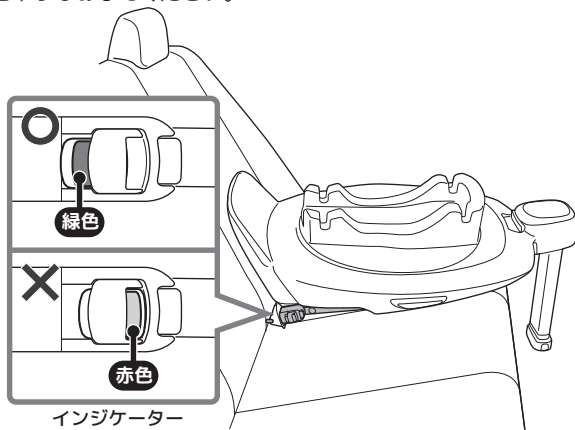


⚠ 注意 本製品を取り付けた状態で座席への着脱を行わないでください。

06

下図を参照して「nuna BASE next」の ISOFIX コネクターのインジケータを確認します。必ず左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



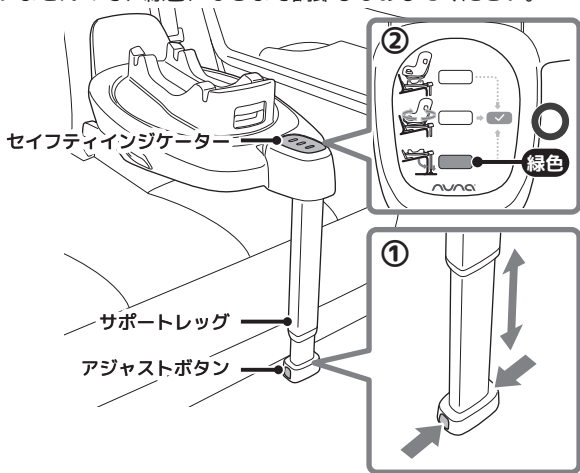
ISOFIX コネクタは確実に固定すること。ISOFIX コネクタが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、衝突や急制動の際に、チャイルドシートが自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケータのいずれか一方でも赤色の場合は正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケータが緑色になるよう取り付け直してください。

07

①アジャストボタンを左右からつまむようにして握り、サポートレッグの長さを調整します。サポートレッグの先端が、まっすぐ床面に接して、かつ、本製品の土台部先端（サポートレッグ側）が座席の座面から浮き上がらないようにします。

②セイフティインジケータの「サポートレッグ部」が緑色になっていることを確認します（下図参照）。赤色の場合は、サポートレッグが正しく調整されていませんので、緑色になるまで調節しなおしてください。



サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグ部のインジケータは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、インジケータが緑色になるようにしてください。

⚠危険

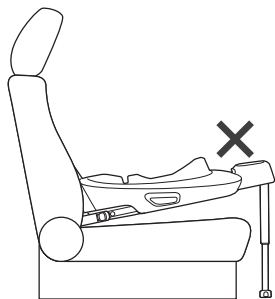
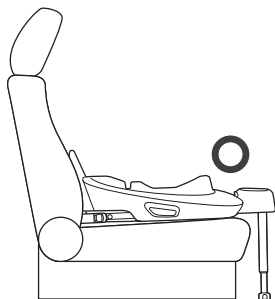
サポートレッグの下や周囲に物を置かないでください。サポートレッグは、安全上、大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

「nuna BASE next」の本体を極端に座席の座面から浮かせないようにしてください。サポートレッグを調節する際には、「nuna BASE next」の底面が座面に、サポートレッグが床面に、それぞれ接している状態にします。

ただし、車種によってはサポートレッグを調節しても、「nuna BASE next」の底面にわずかな浮きが見られる場合がありますがご使用には支障ありません。



警告



08

念のため、「nuna BASE next」を手前に引いて、ISOFIX コネクタがしっかりと ISOFIX 固定バーに固定されていることを確認してください。

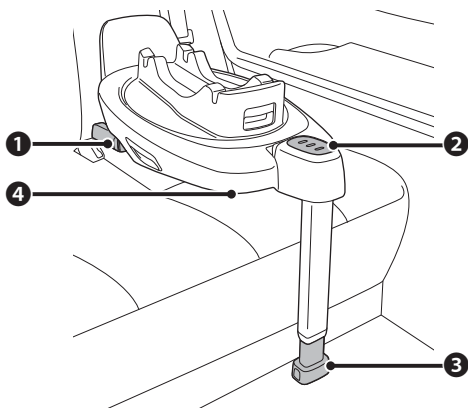


注意

長期に渡って使用しない場合は、「nuna BASE next」を自動車の座席に取り付けたままにしないでください。

09

「nuna BASE next」が正しい状態になっていることを確認します。
以下のチェックリストを確認してください。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



チェックリスト

- ① 左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定バーに固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ② セーフティインジケーターのサポートレッグの部分が緑色になっていること。
- ③ サポートレッグが完全に開かれていて、サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの下、周辺に物が置かれていないこと。
- ④ 本製品の底面が座席の座面に接していること（極端に浮いていないこと）。

危険 「nuna BASE next」は3点式シートベルトによる固定はできません。安全に機能しなくなるおそれがありますので、ISOFIXにより正しく固定した上から、3点式シートベルトなどで、さらに固定しようとししないでください。

nuna BASE next (例) に取り付ける

「nuna BASE next」に本製品を取り付ける場合、本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして取り付けます。お子さまの月齢が 15 ヶ月以上になり、かつ身長が 76cm を超えたら、台座を回転させて、前向きに使用することができます。それまでの間は、後ろ向きに使用してください。本製品を前向きにした状態では「nuna BASE next」への取り付け、取り外しできません。

取り外し時も、台座を回転させて本製品を後ろ向きにしてください。

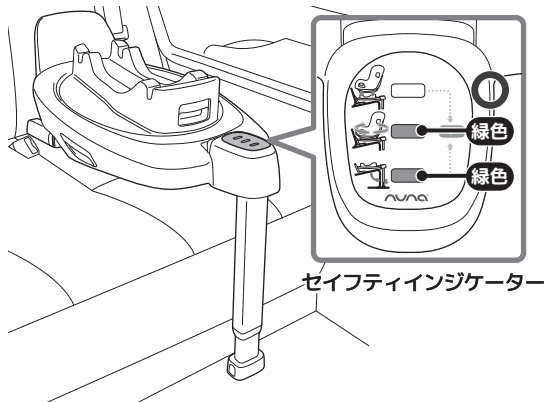


本製品にお子さまを乗せたまま、取り付け取り外しは行わないでください。お子さまが乗っていない状態で操作してください。

本取扱説明書にあわせて、nuna BASE next の取扱説明書を確認すること。

01

「nuna BASE next」のセイフティンジケーターのサポートレッグ部と回転ロック部(下図参照)が両方とも緑色になっていることを確認してください。



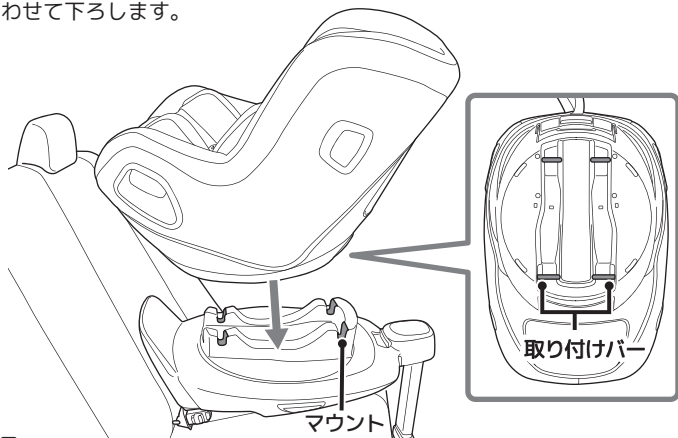
セイフティンジケーター

セイフティンジケーターのサポートレッグ部のインジケーターが赤色の場合は、サポートレッグを調節して緑色になるようにしてください。

参照 P73 > nuna BASE next (例) の取り付け > 07

02

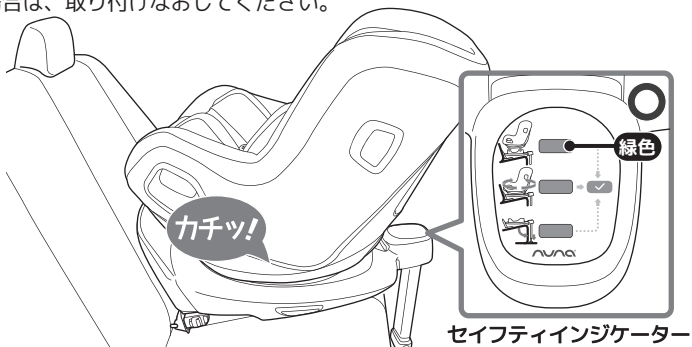
本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして、「nuna BASE next」のマウントの位置に、本製品底面の前後にある取り付けバー（金属棒）位置を合わせて下ろします。



03

そのままに押し込み、カチッと音がして本製品がしっかりと固定されたことを確認します。

「nuna BASE next」のセーフティインジケータの「シート類の固定部」が下図のように緑色になっていることを確認してください。赤色になっている場合は、取り付けなおしてください。



04

念のため、本製品を動かして、「nuna BASE next」から外れないことを確認してください。

本製品は、お子さまの身長と月齢に応じて、後ろ向きまたは前向きにして使用します。取り付けは後ろ向きに行います。

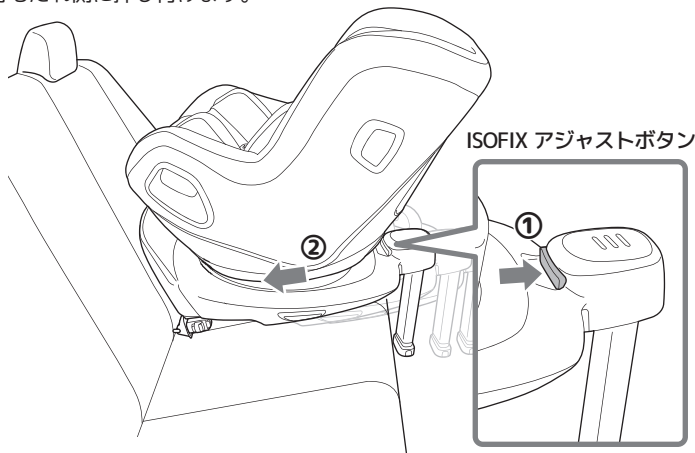
ISOFIX で固定した上から、シートベルトや紐など、その他の方法で、追加して本製品を固定しようとししないでください。これらによって固定が強化されることがないばかりか、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。



危険 nuna BASE next に確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突や急制動の際に、本製品が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず nuna BASE next のセーフティインジケータがすべて緑色になっていることを確認し、かつ本製品を動かして、nuna BASE next から外れないことを確認してください。

05

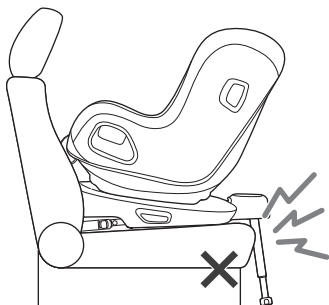
「nuna BASE next」の① ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、②本製品を背もたれ側に押し付けます。



ポイント

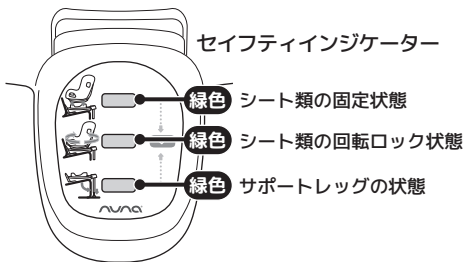
背もたれ側に押し付けすぎると、座席によってはサポートレグが過剰に座席に干渉する場合があります。サポートレグが過剰に干渉しない範囲で押し付けるようにしてください。

押し付けすぎた場合は、ISOFIX アジャストボタンを操作して、本製品を手前に戻してください。



06

「nuna BASE next」を押し込む 05 の操作により、状態が変わる場合がありますので、最後に、もう一度「nuna BASE next」のセイフティインジケータがすべて緑色になっていることを確認してください。赤色の部分があればもう一度取り付けなおしてください。



インジケータがすべて緑色になっていることを必ず確認してください。nuna **危険** BASE next の座席への取り付けに関わるインジケータは、ISOFIX コネクター部（左右 2 か所）および、セイフティインジケータ（3 か所）の合計 5 か所です。

07

本製品を取り外すには、あらかじめお子さまを本製品から降ろして安全な場所に移動させてください。

本製品が前向きになっている場合は、後ろ向きに回転させてください。**前向き**の状態では取り外しできません。

「nuna BASE next」の回転ロックがロックされている事を確認し、リリースレバーを握りながら固定を解除し、本製品をゆっくりと持ち上げて取り外します。

取り外した本製品を車外に出します。



♀ポイント

リリースレバーは左右にあります。いずれか一方を操作すればシート類を取り外すことができます。

nuna BASE next (別売) の使いかた

本製品が対応する ISOFIX ベースシートの「nuna BASE next」(別売)には、お子さまの乗せ降ろしをしやすくするために、本製品を取り付けた状態で「nuna BASE next」の台座部分が回転する機構を装備しています。

この回転機構は、チャイルドシートの向きを後ろ向き、前向きに切り替えるためにも使用します。回転またはチャイルドシートの向きの切り替え時以外には、「nuna BASE next」の回転をロックさせる必要があります。

また、本製品の「nuna BASE next」への取り付け、取り外しは、後ろ向き状態でのみ行うことができます。

ポイント

自動車の座席の形状や背もたれの角度によっては、回転時に本製品がシートにあたり、シート類の回転が困難になる場合があります。

このような場合には、本製品のリクライニングを立てるか、または自動車の座席の背もたれのリクライニングを倒すなどしてください。

これらの調節が困難な場合は、nuna BASE next の ISOFIX アジャストボタンを操作して、nuna BASE next をいったん引き出してから本製品を回転させ、自動車の背もたれ側に押し込んでください。

参照 P78 > nuna BASE next (例) に取り付ける > 05

危険 必ず「nuna BASE next」の取扱説明書を併せてご確認ください。

01

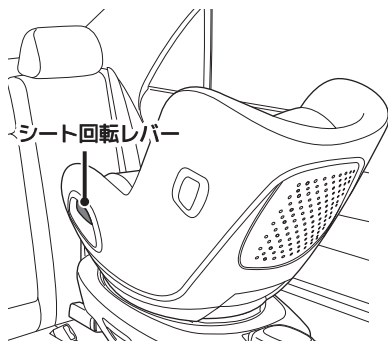
お子さまの月齢が 15 ヶ月を超え、かつ身長が 76cm を超えたら、台座を回転させて、前向きにして使用することができます。

危険 月齢 15 ヶ月を超え、かつ身長が 76cm を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用できます。前向きには絶対にしないでください。また、本製品は本製品の使用可能期間の最後まで後ろ向き状態で使用することができます。

02

本製品の向きの切り替えや回転を行う際には「nuna BASE next」のシート回転レバーは使用しません。本製品の「シート回転レバー」を使用します。

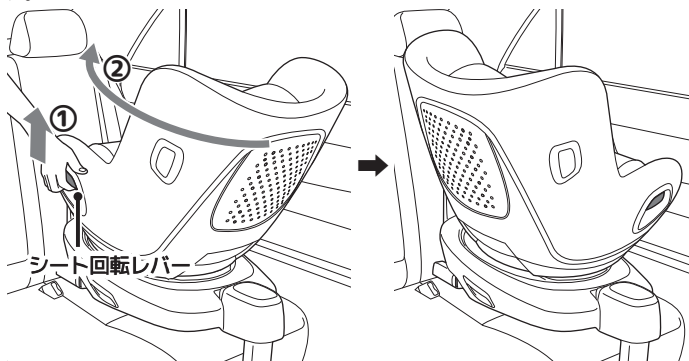
ポイント nuna BASE next のシート回転レバーは、本製品取り付け時、本製品の後部に隠れて見えなくなります。



03

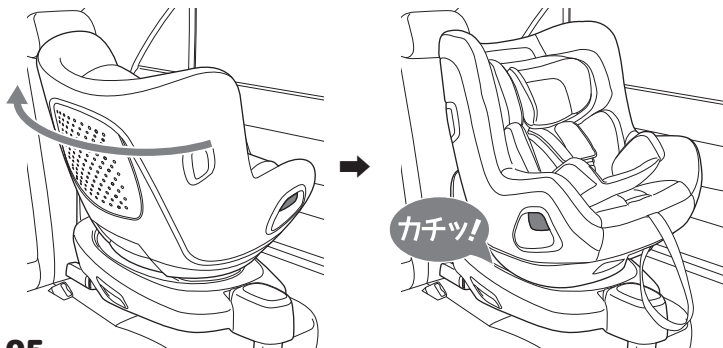
①シート回転レバーを引き上げて、②お子さまの乗せ降ろしがしやすい向きまで回転させます。

シート回転レバーは、左右いずれか一方を操作すれば回転させることができます。



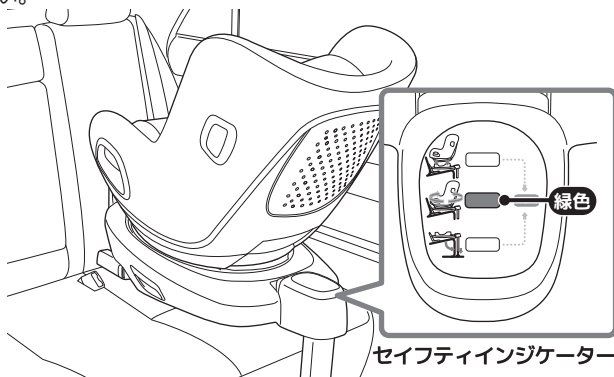
04

そのまま、前向きまで回転させると、カチッと音がして前向き状態で固定されます。後ろ向きに戻すには、前向きへの回転と同様に、シート回転レバーを引き上げてカチッと音がするまで、後ろ向きに回転させてください。



05

本製品が後ろ向き、または前向きになったら、「nuna BASE next」のセーフティインジケータの回転ロック部が緑色になっていることを確認してください。念のため、軽く動かして回転がロックされていることを確認してください。



ポイント

後ろ向きから前向き、またはその逆の操作を行った場合は SIP の向きに注意してください。

nuna BASE next (例) の取り外し

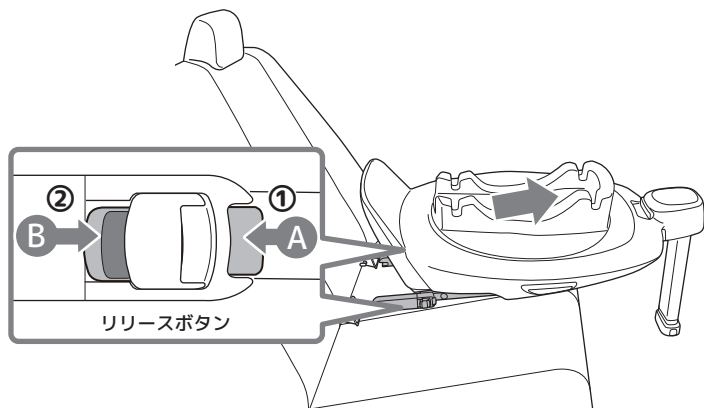
「nuna BASE next」を自動車の座席から取り外す場合は、あらかじめ本製品を取り外しておいてください。

ISOFIX ベースシートにより、操作、部位名称が異なる場合がありますので、本書とあわせて ISOFIX ベースシートの取扱説明書を確認してください。

01

「nuna BASE next」の ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。
左右の ISOFIX コネクターは同時に操作してください。

下図のように① A のリリースボタンを押しながら、② B のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除して、「nuna BASE next」を手前に引き出して ISOFIX 固定バーから抜きます。



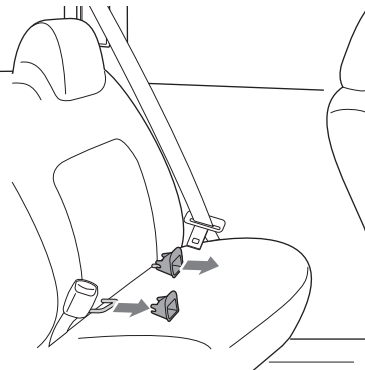
ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

💡ポイント

作業スペースが狭くて ISOFIX コネクターの操作をしにくい場合は、ISOFIX アジャストボタンを使って、「nuna BASE next」を少し前方に引き出すと作業がしやすくなります。

02

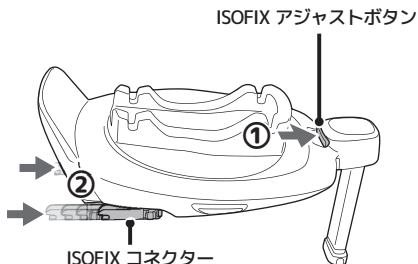
ISOFIX ガイドを取り外します。
ISOFIX ガイドはなくさないよう、
大切に保管してください。



ISOFIX ガイドは取り付けたままにしないでください。ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

03

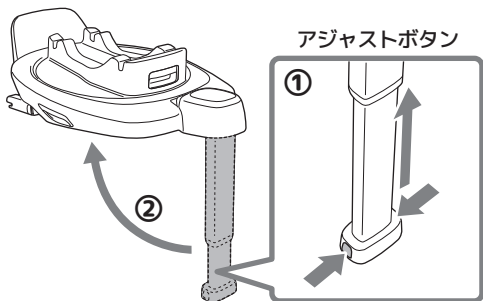
① ISOFIX コネクターレバーを引いて、② ISOFIX コネクターを本体に収納します。



04

①アジャストボタンを操作して、サポートレッグを最も短い状態にして、②サポートレッグを本体側に折りたたみます。

本製品を自動車から出します。



⚠ 警告

本製品、ISOFIX ベースシートとも、座席から取り外したら必ず車外に出していただきます。これらを正しく固定せず、そのまま車内に置いておくと、衝突や急制動の際に移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

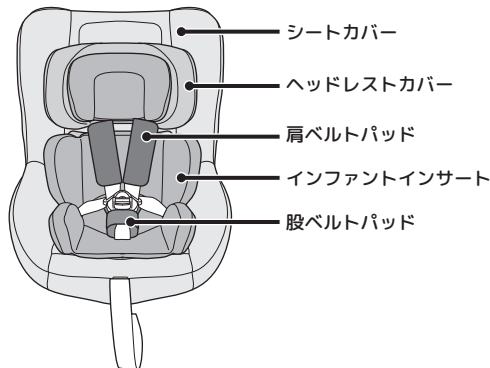
⚠ 注意

ISOFIX ベースシートのサポートレッグは閉じた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

本製品は、お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（インファントインサートは必要に応じて）取り付けなおしてください。



チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。カバー類、縫製品類は、安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に使用されている、ウレタンなどの衝撃吸収材、本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

⚠ 警告 お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れなどのためにシートカバーなどを取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります。内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品は、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

股ベルトパッド

以下を参照して股ベルトパッドを取り外し、取り付けします。

参照 P43 > ボディサポートの取り外し、取り付け > 03

股ベルトパッドの抜き取り、取り付けは操作が固めです。インファントインサートを取り付けの場合は、先にインファントインサートを受けバックルに通してから股ベルトパッドを取り付けてください。

警告 股ベルトパッドは、必ず取り付けなおしてください。股ベルトパッドが取り付けられていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できません。

インファントインサート

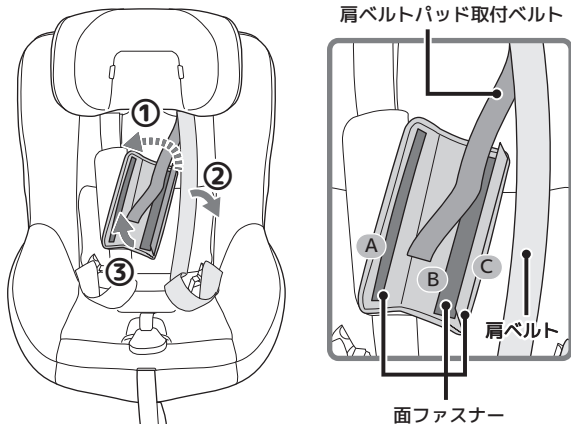
以下を参照してインファントインサートを取り外し、取り付けします。

参照 P41 > インファントインサートの使いかた

肩ベルトパッド

01

- ① 肩ベルトパッドの面ファスナー (A と C) を開き、② 肩ベルトを抜きます。
- ③ 肩ベルトパッド取付ベルトの面ファスナー (B) を外して、肩ベルトパッドを取り外します。



肩ベルトパッドは、ハーネスには固定されていません。肩ベルトパッド取付ベルトに固定されています。肩ベルトは肩ベルトパッド取付ベルトの上に重ねられています。

02

取り付け時には、肩ベルトパッドの向きにご注意ください。右図を参照して向きを確認してください。

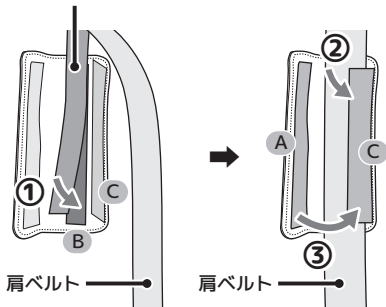


03

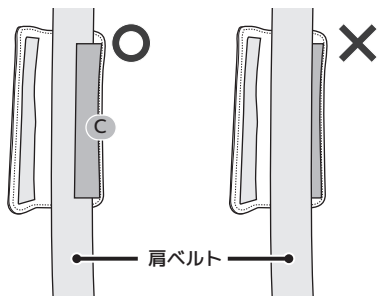
図は向かって右側の肩ベルトパッドの状態を示しています。

①肩ベルトパッド取付ベルトに面ファスナー (B) を取り付けて、肩ベルトパッド取付ベルトに重ねるようにして②肩ベルトを面ファスナー (C) の下側に差し込み、③面ファスナー (A) と (C) を取り付けて固定します。

肩ベルトパッド取付ベルト



使用中に肩ベルトパッドが開くおそれがありますので、肩ベルトを面ファスナー (C) の上側にしないでください。肩ベルトは面ファスナー (C) の下側になるようにしてから、面ファスナー (A) と (C) を留めてください。



シートカバー・ヘッドレストカバー

01

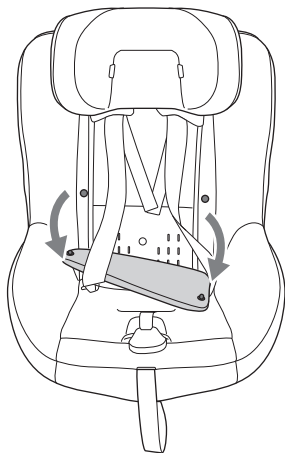
あらかじめヘッドレストを最も高い位置に調節して、SIP を取り外しておきます。

参照 P39 >ハーネスの高さ調節

参照 P47 >サイドインパクトプロテクションボッド (SIP)

02

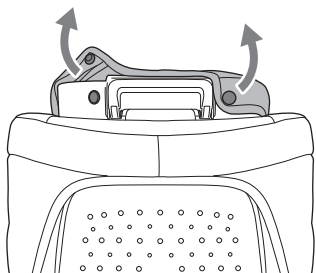
背もたれの部分の中央あたり左右で留めてあるシートカバーのスナップボタンを外します。左右とも外してください。



03

ヘッドレスト後部のヘッドレストアジャストレバーの左右で留めてあるヘッドレストカバーのホックボタンを外します。左右とも外してください。

💡ポイント ヘッドレストを最も高い位置に調節していないと、ホックボタンは取り外しできません。

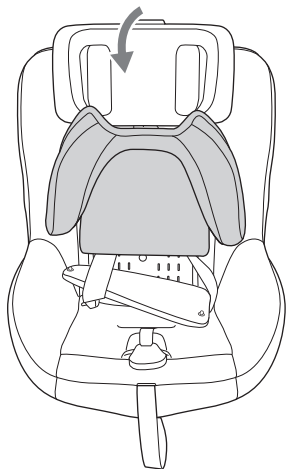


⚠️注意 ホックボタンは固めです。注意して取り外し、取り付けしてください。

04

ヘッドレストカバーの上部を前方に向かって取り外します。この時点ではヘッドレストカバーは取り外しできませんのでご注意ください。

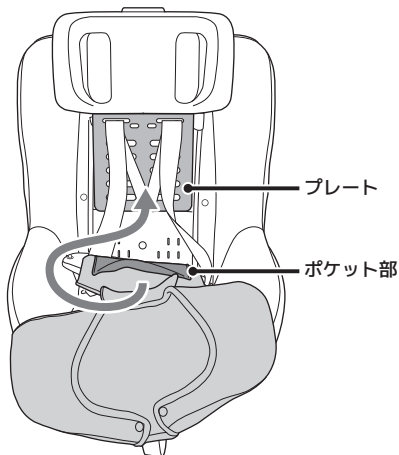
⚠️注意 ヘッドレスト部のウレタンや衝撃緩衝材にキズを付けないように注意してください。



05

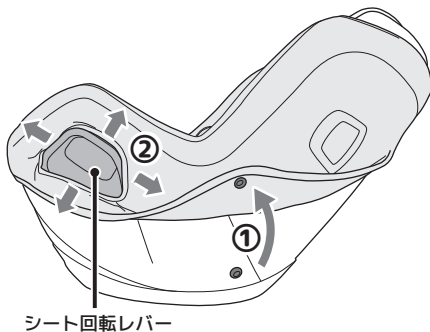
ヘッドレストカバーのポケット部に差し込まれている、ヘッドレスト下部のプレートを抜き出して、ヘッドレストカバーを取り外します。

取り付けの際に、プレート
⚠️注意 をポケット部に必ず差し込んでください。



06

シート側面左右でシートカバーを留めている①ホックボタンを外して、②シート回転レバーの縁に沿ってたくし込まれているシートカバーの生地を抜き出しておきます。左右とも同じようにしてください。



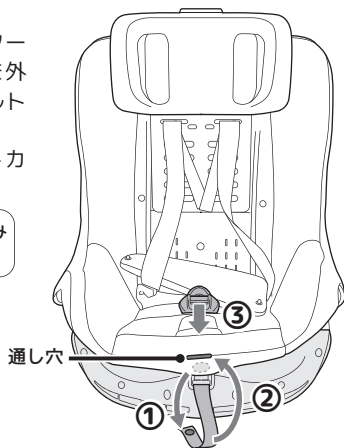
07

シートカバー前端的裏側でアジャスターベルトを留めている①面ファスナーを外して、②通し穴からアジャスターベルトを抜きます。

③受けバックル、股ベルトをシートカバーの通し穴から抜きます。

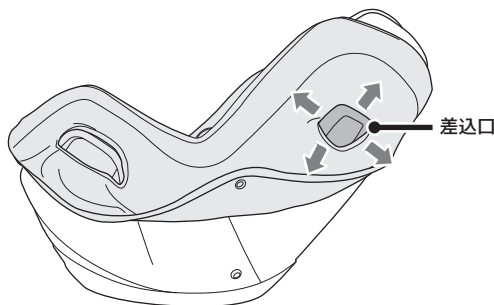
♀ポイント

受けバックルの抜き取り、差し込みは操作がきつめです。



08

SIPの差込口にたくし込まれているシートカバーの生地を抜き出します。きつめにたくし込まれていますので、注意して抜き取り、差し込みしてください。



♀ポイント

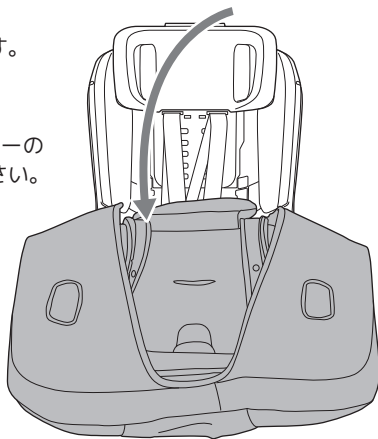
シートカバーの取り付け時には、1:SIPの差込口(左右)、2:シート回転レバー部(左右)の順で差込口を取り付けてください。左右いずれか片側のSIP、シート回転レバー部にシートカバーを先に差し込むと、反対側の作業が難しくなります。

09

シートカバーを前方に取り外します。

10

ヘッドレストカバー、シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。



お手入れの方法

カバー類

以下のカバー類は、洗濯機で洗濯が可能です。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

- ・シートカバー
- ・ヘッドレストカバー
- ・インファントインサート

※洗濯できませんので、インナークッションは取り外してください。

※洗濯できませんので、ヘッドサポートのクッションプレートは取り外してください。

- ・肩ベルトパッド
- ・股ベルトパッド

- 液温 30℃以下の水で洗濯機で通常の洗濯が可能です。
- 洗濯機をご使用になる際は、重量の偏りに注意してください（特に脱水時）。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで、洗剤を完全に落としてください。
- 軽く絞って、形を整えて陰干ししてください。
- 取り付けは、よく乾かしてから行ってください。
- 留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めておいてください。

- ・漂白剤は使用できません。
- ・タンブル乾燥処理はできません。
- ・日陰でつり干し乾燥してください。

- ⚠注意** アイロンは使用しないでください。
- ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
 - ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
 - ・きつく絞らないでください。

本体

樹脂部分は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

- ⚠危険**
- 油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

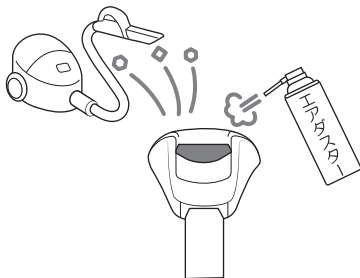
- ⚠注意**
- ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃吸収材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ハーネス・ベルト類・受けバックル・差込みタンク

ハーネス、アジャスターベルト、股ベルトは取り外しできません。本体に取り付けたままお手入れしてください。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



ISOFIX ベースシートのお手入れ

ISOFIX ベースシートの取扱説明書を参照して、正しくお手入れしてください。

保管のしかた

長期間使用しない場合、本製品は自動車の座席から取り外してください。

長期間使用しない場合、ISOFIX ベースシートに取り付けた状態では保管しないでください。

ISOFIX ベースシートも同様に、長期間使用しない場合は、自動車の座席から取り外した上で正しく保管してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時も本製品のバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を乗せて保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	nuna todl next (トドルネクスト) Next system 対応		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前		電話番号
	電話番号	—	—

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・ お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
 - ・部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
 - ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
 4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
 5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
 6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(nuna日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください



Find out more at **nunababy.com**